

管理事業名	シティプロモーション事業				総合計画 の体系		大綱 7 都市魅力			
							政策 3 市民が愛着をもてるまちづくり			
							施策 1 魅力の向上と発信			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	2	総務費	(項)	1	総務管理費	(目)	40	シティプロモーション費
部局名	都市魅力部	予算執行 所属		シティプロモーション推進室						
事業の目的と概要										
【目的】 全国的に人口減少・少子高齢化が進む中で、本市が持続的に発展するために、本市が持つ魅力を積極的に発掘・発信し、市民にとって「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった市への愛着や誇りが醸成される取組を実施。										
【概要】 ・都市魅力創造事業（市民の市への愛着や誇りが醸成される取組の実施）・都市魅力発信事業（吹田市情報発信プラザ（Inforestすいた）の企画・運営、地域の特性を生かした取組の実施、市ならではの魅力向上につながるイベントへの補助金交付など）・大学のあるまちづくり事業（市内5大学等と連携を図り、各機関が有する豊富な知的財産、人材、情報、施設などをまちづくりの各般で生かし、双方の発展に寄与する取組を進める。）・すいたフェスタ事業（運営事業補助金の交付、事務局の一部委託）										

I 成果指標（活動指標）

指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	指 標 の 定 義
SNSによる情報発信回数	回	563	546	531	①すいたんSNS（X（旧Twitter）・Facebook）及び②市公式Instagram発信回数 目標件数：①市役所開庁日毎日発信、②週2回（火、金）
SNSの登録者数	人	20,584	21,485	22,489	①すいたんSNS（X（旧Twitter）・Facebook）及び②市公式Instagramの登録者数
情報発信プラザ物販売上げ額	円	4,187,076	3,557,120	1,756,122	情報発信プラザ（Inforestすいた）で販売するシティプロモーショングッズや吹田市関連商品の売上げ額。
吹田市ファンクラブ会員数	人	1,564	1,734	1,784	Inforestすいた公式LINE登録者数（令和4年3月17日開設）

II 活動実績・成果

【成果指標1,2】 ・各SNSの情報発信目標件数は、すべてのSNSにおいて目標を未達成。（すいたんSNS:406回、市公式Instagram:125回） ・各SNSの令和6年3月末時点でのフォロワー数は、前年度に比べ増加。（すいたんX（旧Twitter）:201増、すいたんFacebook:49増、市公式Instagram:754増） ・すいたんSNSにおいては、季節や時流に合わせた投稿、市とゆかりのある多様な主体との連携した投稿を積極的に実施し、すいたんSNSアカウント自体の魅力向上に努め、市の魅力発信ツールとして強化。また、より魅力的な投稿となるよう研修も開催。 ・市公式Instagramは、市民が投稿した市の魅力的な風景をリポスト投稿する形で運用。同アカウントで開催するフォトコンテストへの応募数は年々増加し、令和6年は1,512点。さらに、大学生のアイデアを取り入れ、風景だけにとどまらない市の魅力の発信を促すキャンペーンに進化。 【成果指標3,4】 ・吹田市情報発信プラザ（Inforestすいた）は、令和6年10月末をもって閉鎖したため、売上額、来訪者数ともに前年度比で減少している。 【財務情報に基づいた評価】 ・主な経常費用は、給与関係費116,062千円、物件費55,401千円である。本事業は、職員による発案・検討による企画の実施や情報収集、調整等の積み重ねで事業を進めているほか、吹田市情報発信プラザ（Inforestすいた）の運営や2025年日本国際博覧会を活用したシティプロモーションの展開などについては、業務委託も活用しながら効果的な事業運営を実施した。	・担当職員をはじめ、全庁職員がプロモーションの観点を取り入れて日々の業務を積み重ねることができるよう、研修を企画実施。また、令和6年度は、外部有識者等で構成するアドバイザー会議に障がい福祉室、健康まちづくり室の取組を議題として挙げた。 【施策の取組をより推進する視点】 ・大学が持つ専門性を活かした連携が全庁的に促進されるように、大学連携推進協議会等の場を用いた協議や個別案件への対応、市と大学の双方から連携希望案件の情報提供を行う仕組みを構築し取り組んだ。 ・2025年日本国際博覧会をシティプロモーションの好機と捉え、更なる魅力発信のため、ワークショップを5回、シンポジウムを1回開催し、延べ200名以上が参加した。また、内閣官房が行っている万博国際交流プログラムではスイスを相手国として国際交流の一環で市民向け・学校向けのイベントを計8回開催し、延べ550人以上が参加した。 ・令和6年度においては、万博の機運醸成に取組む民間事業者との連携により、3つの事業を実施。今後これらの事業が本市の新たな都市魅力として定着するよう更なる連携強化など実施。
--	---

III 課題と今後の取組

【都市魅力創造・発信】更なる情報発信力の強化とフォロワー数の増加に向け、手法等を検討するほか、市の魅力を伝えるためシティプロモーショングッズの販売・配布にとどまらない展開も検討。2025年日本国際博覧会を契機とした効果的なシティプロモーションについても対象に合わせた手法を検討し実施する。	【大学連携】大学とのより一層の連携強化に向け、見える化に注力し、庁内向けの周知や、市ホームページでの情報発信に努めた。 【すいたフェスタ】熱中症対策や、障がいのある方への配慮など、多くの人々が楽しめる市の一大会事となるよう実行委員会と引き続き連携を図る。 【シティプロモーションの全庁化】各室課の事業を市民の市への愛着形成等に繋げることを目的とし、SNSやプレスリリースを活用した発信力強化に向けた取組を実施するほか、シティプロモーションの強化につながる職員向けの研修等を実施。
---	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和5年度末 A	令和6年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和5年度末 A	令和6年度末 B	差額 B-A
流動資産				流動負債	7,965	9,912	1,948
現金預金	-	-	-	地方債	-	-	-
未収金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	7,965	9,912	1,948
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
固定資産				固定負債	76,021	83,871	7,850
有形固定資産	1,634	-	△1,634	地方債	-	-	-
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	1,634	-	△1,634	退職手当引当金	76,021	83,871	7,850
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	200	200	-	負債の部合計	83,985	93,783	9,798
有形固定資産	-	-	-	純資産	△82,151	△93,583	△11,432
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	76,021	83,871	7,850
重要物品	-	-	-	リース債務	-	-	-
図書館資料	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	負債及び純資産の部合計	1,834	200	△1,634
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	1,834	200	△1,634				

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和4年度	令和5年度 A	令和6年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	168	500	332
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	2,166	4,591	3,393	△1,198
経常収入 小計(a)	2,166	4,759	3,893	△866
経常費用				
給与関係費	93,032	105,686	116,062	10,376
物件費	72,402	45,827	55,401	9,574
維持補修費	132	75	88	13
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	24,766	32,113	37,840	5,727
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	1,032	1,032	602	△430
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	7,054	7,965	9,912	1,948
退職手当引当金繰入額	△628	15,055	14,675	△380
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	197,790	207,752	234,580	26,828
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△195,624	△202,993	△230,687	△27,694
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	1,032	1,032
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	1,032	1,032
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	△1,032	△1,032
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△195,624	△202,993	△231,719	△28,726
一般財源充当額	167,951	189,916	220,287	30,371
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△27,674	△13,077	△11,432	1,645

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和4年度	令和5年度 A	令和6年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	2,166	4,759	3,893	△866
行政サービス活動支出	203,061	194,675	224,180	29,505
行政サービス活動収支差額	△200,896	△189,916	△220,287	△30,371
投資活動収入	32,945	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	32,945	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△167,951	△189,916	△220,287	△30,371
一般財源充当額	167,951	189,916	220,287	30,371
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特微的な事項

勘定科目等	特微的な事項
【BS】事業用資産/建物・工作物	吹田市情報発信プラザ(Inforestすいた)廃止による減。
【PL】府支出金(経常費用充当)	2025年日本国際博覧会の機運醸成に資する事業実施に係る「大阪府2025年大阪・関西万博地域連携イベント開催支援事業補助金」によるもの。
【PL】給与関係費	2025年日本国際博覧会関連業務実施のための人員増によるもの。
【PL】物件費	2025年日本国際博覧会を契機としたシティプロモーションによるもの。
【PL】減価償却費	吹田市情報発信プラザ(Inforestすいた)廃止による減。

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市民1人	コスト 519 円 実績 381,238 人	コスト 544 円 実績 382,336 人	コスト 611 円 実績 384,302 人
情報発信プラザ来訪者1人	コスト 122 円 実績 251,846 人	コスト 229 円 実績 136,448 人	コスト 182 円 実績 107,271 人

分 2025年日本国際博覧会関連業務実施に伴う人員増のた
析 め、市民一人当たりのコストが増加。
内 吹田市情報発信プラザ(Inforestすいた)運営に係る費
用(19,521千円)を実績で割って算出。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	134,321	7,813	13.65
会計年度任用等	6,328		
特別職非常勤	-		
合計	140,649		

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和4年度	令和5年度 A	令和6年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		74.2	84.2	-	△ 84.2
施設維持補修費比率		1.3	0.7	-	△ 0.7
経常費用対公共資産比率		1916.2	2012.7	-	△ 2012.7
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		-	-	-	-
一般財源充当比率		82.7	97.6	98.3	0.7